

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月5日

東京都知事 殿

提出者

住所 東京都千代田区三番町2番地
株式会社松村組 東京本店
氏名 執行役員本店長 瀧川和志

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-5210-6162

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社松村組 東京本店
事業場の所在地	東京都千代田区三番町2番地 三番町KSビル
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	2022年度完工高 12,400,000,000円
③従業員数	115人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別添2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
	排 出 量	5,306.96 t	1.08 t
	(これまでに実施した取組) ・工法の改善 ・養生材の削減 ・余剰材の抑制		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
	排 出 量	4,776.26 t	0.97 t
	(今後実施する予定の取組) 上記に加え下記内容を取組予定 ・梱包材の簡素化 ・既製品のユニット化 ・コンクリート塊、アスファルト塊、陶器類と分別の徹底指導していく ・コンクリート塊には鉄筋、木を含まない様にする。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 紙くずダンボール：専門回収業者に委託 石膏ボード：広域認定制度利用によるリサイクル 鉄くず・金属くず 廃プラスチック 木くず
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ALC, パーチクルボード：広域認定制度利用によるリサイクル

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
排 出 量	50.31 t	0.66 t	45.83 t	7,893.75 t

(これまでに実施した取組)

- ・工法の改善
- ・養生材の削減
- ・余剰材の抑制

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
排 出 量	45.28 t	0.59 t	41.25 t	7,104.38 t

(今後実施する予定の取組)

上記に加え下記内容を取組予定

- ・梱包材の簡素化
- ・既製品のユニット化
- ・コンクリート塊、アスファルト塊、陶器類と分別の徹底指導していく
- ・コンクリート塊には鉄筋、木を含まない様にする。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和4 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
排 出 量	452.07 t	852.41 t	14.54 t	7.30 t
（これまでに実施した取組） ・工法の改善 ・養生材の削減 ・余剰材の抑制				
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
排 出 量	406.86 t	767.17 t	13.09 t	6.57 t
（今後実施する予定の取組） 上記に加え下記内容を取組予定 ・梱包材の簡素化 ・既製品のユニット化 ・コンクリート塊、アスファルト塊、陶器類と分別の徹底指導していく ・コンクリート塊には鉄筋、木を含まない様にする。				

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
排 出 量	185.69 t	6.96 t	235.30 t	0.47 t

(これまでに実施した取組)

- ・工法の改善
- ・養生材の削減
- ・余剰材の抑制

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
排 出 量	167.12 t	6.26 t	211.77 t	0.42 t

(今後実施する予定の取組)

上記に加え下記内容を取組予定

- ・梱包材の簡素化
- ・既製品のユニット化
- ・コンクリート塊、アスファルト塊、陶器類と分別の徹底指導していく
- ・コンクリート塊には鉄筋、木を含まない様にする。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和4 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	-	-	-	-
排 出 量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	-	-	-	-
排 出 量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和4 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	-	-	-	-
排 出 量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	-	-	-	-
排 出 量	- t	- t	- t	- t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施はしていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) ・現場に処理設備機器が置けないため、特に計画はしていない		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
(これまでに実施した取組) ・特に実施はしていない			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
(今後実施する予定の取組) ・現場に処理設備機器が置けないため、特に計画はしていない			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(これまでに実施した取組)

- ・特に実施はしていない

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(今後実施する予定の取組)

- ・現場に処理設備機器が置けないため、特に計画はしていない

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(これまでに実施した取組)

- ・特に実施はしていない

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(今後実施する予定の取組)

- ・現場に処理設備機器が置けないため、特に計画はしていない

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(これまでに実施した取組)

- ・特に実施はしていない

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(今後実施する予定の取組)

- ・現場に処理設備機器が置けないため、特に計画はしていない

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(これまでに実施した取組)

- ・特に実施はしていない

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(今後実施する予定の取組)

- ・現場に処理設備機器が置けないため、特に計画はしていない

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(これまでに実施した取組)

- ・特に実施はしていない

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(今後実施する予定の取組)

- ・現場に処理設備機器が置けないため、特に計画はしていない

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(これまでに実施した取組)

- ・特に実施はしていない

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(今後実施する予定の取組)

- ・現場に処理設備機器が置けないため、特に計画はしていない

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	-	-	-	-
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	-	-	-	-
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	-	-	-	-
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	-	-	-	-
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	-	-	-	-
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	-	-	-	-
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	-	-	-	-
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	-	-	-	-
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施はしていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) ・現場に処理設備機器が置けないため、特に計画はしていない		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
	全処理委託量	5,306.96 t	1.08 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2,522.60 t	1.08 t
	再生利用業者への処理委託量	3,476.30 t	- t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t
	(これまでに実施した取組) ・委託基準に従い、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施（処理能力を含め確認する）		

(第4面) - 2

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和4 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
(これまでに実施した取組) ・特に実施はしていない				
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
(今後実施する予定の取組) ・現場に処理設備機器が置けないため、特に計画はしていない				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和4 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
全処理委託量	50.31 t	0.66 t	45.83 t	7,893.75 t
優良認定処理業者への処理委託量	42.84 t	0.66 t	22.91 t	3,743.42 t
再生利用業者への処理委託量	32.68 t	0.66 t	20.52 t	7,012.45 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t
(これまでに実施した取組) ・委託基準に従い、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施（処理能力を含め確認する）				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和4 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
(これまでに実施した取組) ・特に実施はしていない				
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
(今後実施する予定の取組) ・現場に処理設備機器が置けないため、特に計画はしていない				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和4 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
全処理委託量	452.07 t	852.41 t	14.54 t	7.30 t
優良認定処理業者への処理委託量	12.60 t	796.23 t	14.54 t	6.72 t
再生利用業者への処理委託量	441.27 t	268.58 t	- t	3.39 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t
(これまでに実施した取組) ・委託基準に従い、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施（処理能力を含め確認する）				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(これまでに実施した取組)

- ・特に実施はしていない

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(今後実施する予定の取組)

- ・現場に処理設備機器が置けないため、特に計画はしていない

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
全処理委託量	185.69 t	6.96 t	235.30 t	0.47 t
優良認定処理業者への処理委託量	87.24 t	0.56 t	186.14 t	0.17 t
再生利用業者への処理委託量	174.36 t	6.96 t	208.00 t	0.47 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

(これまでに実施した取組)

- ・委託基準に従い、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施（処理能力を含め確認する）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	-	-	-	-
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	-	-	-	-
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	-	-	-	-
全処理委託量	- t	- t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和4 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	-	-	-	-
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	-	-	-	-
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和4 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	-	-	-	-
全処理委託量	- t	- t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油
	全処理委託量	4,776.26 t	0.97 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2,270.34 t	0.97 t
	再生利用業者への処理委託量	3,128.67 t	- t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) ・優良認定業者を選定していく ・再生利用率の高い業者を選定する割合を上げていく。 ・委託先処理業者には定期的に現地確認を実施していく。		
※事務処理欄			

【目標】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
全処理委託量	45.28 t	0.59 t	41.25 t	7,104.38 t
優良認定処理業者への処理委託量	38.56 t	0.59 t	20.62 t	3,369.08 t
再生利用業者への処理委託量	29.41 t	0.59 t	18.47 t	6,311.21 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t
(今後実施する予定の取組) ・優良認定業者を選定していく ・再生利用率の高い業者を選定する割合を上げていく。 ・委託先処理業者には定期的に現地確認を実施していく。				

【目標】				
産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
全処理委託量	406.86 t	767.17 t	13.09 t	6.57 t
優良認定処理業者への処理委託量	11.34 t	716.61 t	13.09 t	6.05 t
再生利用業者への処理委託量	397.14 t	241.72 t	- t	3.05 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t
(今後実施する予定の取組) ・優良認定業者を選定していく ・再生利用率の高い業者を選定する割合を上げていく。 ・委託先処理業者には定期的に現地確認を実施していく。				

【目標】				
産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
全処理委託量	167.12 t	6.26 t	211.77 t	0.42 t
優良認定処理業者への処理委託量	78.52 t	0.50 t	167.53 t	0.15 t
再生利用業者への処理委託量	156.92 t	6.26 t	187.20 t	0.42 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t
(今後実施する予定の取組) ・優良認定業者を選定していく ・再生利用率の高い業者を選定する割合を上げていく。 ・委託先処理業者には定期的に現地確認を実施していく。				

【目標】				
産業廃棄物の種類	-	-	-	-
全処理委託量	- t	- t	- t	- t
優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

【目標】				
産業廃棄物の種類	-	-	-	-
全処理委託量	- t	- t	- t	- t
優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

別添 1 処理工程図

- ・解体工事

がれき類（コンクリート塊）⇒再生処理業者委託⇒再生砕石再資源化

木くず⇒再生処理業者委託⇒チップ（合材、燃料用）に資源化

- ・建設工事

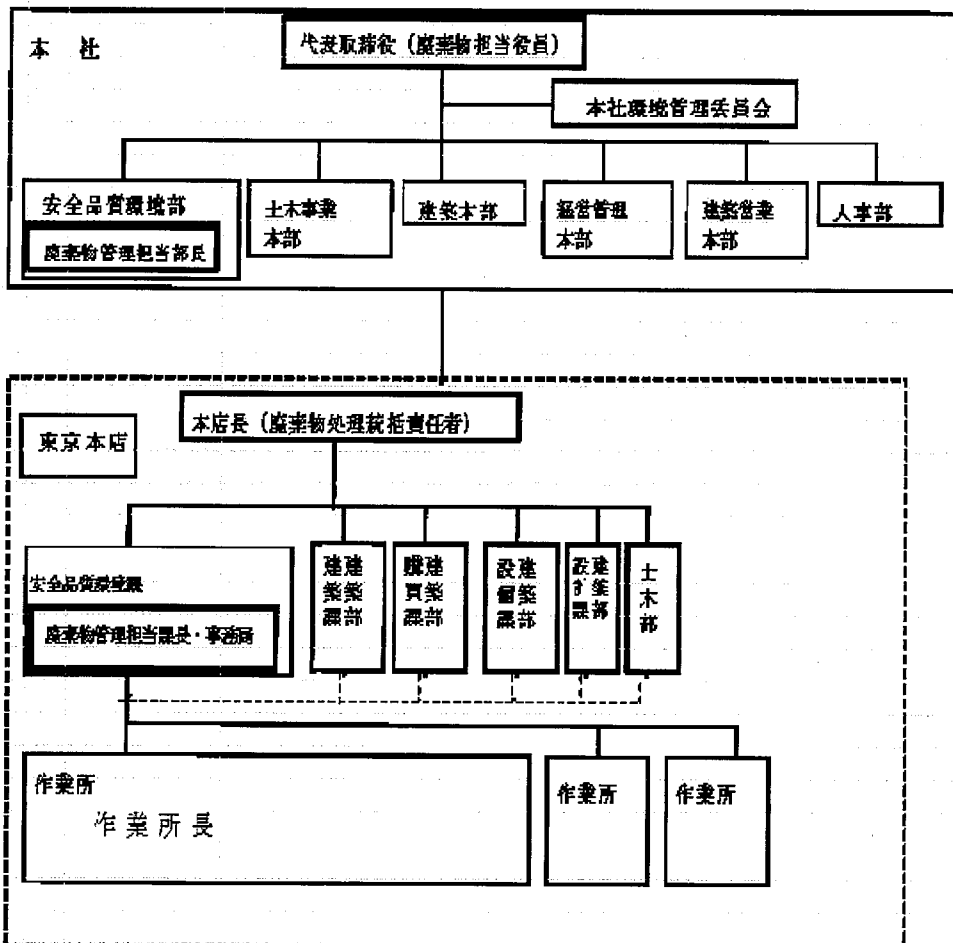
がれき類（コンクリート、アスファルト）⇒再生処理業者委託⇒再生骨材再資源化

汚泥⇒再生処理委託業者委託⇒埋戻し等に再資源化

別添 2 管理体制図

統括責任者	所属：株式会社松村組東京本店 職・氏名：本店長 瀧川 和志
廃棄物担当	組織名：建築課、安全品質課、購買課組織人数：7人
役割	支店環境管理委員会 ○廃棄物処理に関する検討 ○廃棄物の発生抑制、再生処理、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 *委員長—支店長 *委員—関連部署部長 *事務局—安全品質課
	廃棄物処理統括責任者 ○廃棄物処理方針の策定 ○支店の廃棄物管理規程の策定・改廃 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物管理担当課長 (又は作業所長) ○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理の委託契約の締結 ○産業廃棄物管理票の交付・管理 ○特別管理産業廃棄物管理責任者、技師管理者等の設置 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する教育、啓発 ○その他関係する事項

廃棄物管理組織図



備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。